

事務事業チェックシート

事務事業No 387 事業名 ベンチャー推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	2	新たな事業の創出と産学官金・異業種連携の促進
施策	1	新たな事業の創出と産学官金・異業種連携の促進
取組方針	1	新たな事業の創出と創業者の育成

事業種別	継続	
事業期間	H12 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	清水 出(435-1233)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		新産業育成費	
	大事業		新産業育成事業費	
事項		ベンチャー推進事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	ベンチャー事業者等の育成と支援を行い、新事業の創出と産業の振興を図る。	1. インターネット環境を整備したブースを低料金で提供する「わかやまSOHOヴィレッジ」を市内八番丁9番地県信ビル2Fに設置している。 ※ 面積は14.3㎡~35.5㎡で12ブースあり、家賃は市が一部補助させていただきますので、1㎡あたり1,300円(100円未満切捨)での貸出になります。 2. 入居者には、定期的に経営指導の実施や起業相談に対応することで、ソフト面からも支援するインキュベーションマネージャーを配置して、起業家・SOHO事業者・ベンチャー企業等の早期創業を支援します。 ※ 入居希望者の方にもインキュベーションマネージャーの面接を受けていただくこととなります。起業相談は、わかやまSOHOヴィレッジ入居者以外でも受けてもらうことができます。(インキュベーションマネージャーは常駐していませんので、予約が必要です。)				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		○「わかやまSOHOヴィレッジ」を設置し、インターネット環境を整備したブースを低料金で提供し、また、インキュベーションマネージャーによる経営相談等ソフト面からの支援を行う。 (独立企業数：1社) ○「インフォ・フェアinわかやま」の開催の実施にあたり、補助金を交付し、後援を行う。	○「わかやまSOHOヴィレッジ」を設置し、インターネット環境を整備したブースを低料金で提供し、また、インキュベーションマネージャーによる経営相談等ソフト面からの支援を行う。 (独立企業数：5社) ○「インフォ・フェアinわかやま」の開催の実施にあたり、補助金を交付し、後援を行う。	○「わかやまSOHOヴィレッジ」を設置し、インターネット環境を整備したブースを低料金で提供し、また、インキュベーションマネージャーによる経営相談等ソフト面からの支援を行う。 (独立企業数：3社)	○「わかやまSOHOヴィレッジ」を設置し、インターネット環境を整備したブースを低料金で提供し、また、インキュベーションマネージャーによる経営相談等ソフト面からの支援を行う。	○「わかやまSOHOヴィレッジ」を設置し、インターネット環境を整備したブースを低料金で提供し、また、インキュベーションマネージャーによる経営相談等ソフト面からの支援を行う。

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	10,364	9,941	10,502	10,132	10,254	9,758	9,934		9,934	
伸び率 (%)	-	-	1.3%	1.9%	▲2.4%	▲3.7%	▲3.1%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	4,042	4,987	4,987	6,029	5,882	6,059	6,059	6,059	
	正規職員以外	301	281	281	313	281	316	211	211	
小計	4,042	5,268	5,268	6,342	6,163	6,375	6,270		6,270	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	4,032	2,293	4,032	2,060	4,070	1,175	4,070			
一般財源 (税等)	6,332	7,648	6,470	8,072	6,184	8,583	5,864			
所要人数 (人)	正規職員	0.54	0.67	0.67	0.79	0.79	0.76	0.76		
	正規職員以外	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.1		
主な予算内訳	建物借上料 7,880千円、 SOHO運営委託料 749千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	入居企業数	目標値	12	12	12	12	
		実績値	8	9	4		
		達成度 (%)	66.7%	75.0%	33.3%		
成果指標	SOHOから新設オフィスへ独立移転した企業数 (累計)	目標値	110	110	110	110	
		実績値	98	103	106		
		達成度 (%)	89.1%	93.6%	96.4%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	起業を促し、新規事業を創出するためには、事業展開を行える環境づくりが重要であり、今後もわかやまSOHOヴィレッジを運営しながら、ベンチャー事業者等に対し、ハード・ソフト両面からの支援を継続していく。
見直し・改善内容	創業支援事業計画の事業の一つとして位置づけ、入居者がインキュベーションマネージャーに事業の進捗状況の報告及び相談を行う「評価会」において、創業支援関係機関の担当者に同席してもらうなど、関係機関と連携して支援に取り組んでいる。